

図1-1 課題明確化ツールの6目的群・17目的のデータとして収集したリスト

A1特定健康診査受診率	2016年国保特定健康診査受診率 (%)	2015年国保特定健康診査受診率 (%)	2014年国保特定健康診査受診率 (%)	2013年国保特定健康診査受診率 (%)	2015年特定健康診査受診率 (%)	2014年特定健康診査受診率 (%)	2013年特定健康診査受診率 (%)
A2.特定保健指導実施率	2016年国保特定保健指導実施率 (%)	2015年国保特定保健指導実施率 (%)	2014年国保特定保健指導実施率 (%)	2013年国保特定保健指導実施率 (%)	2015年特定保健指導実施率 (%)	2014年特定保健指導実施率 (%)	2013年特定保健指導実施率 (%)
A3がん検診受診率向上	2017年度(地域保健・健康増進事業報告)胃がん検診受診率 (%)	2017年度(地域保健・健康増進事業報告)肺がん検診受診率 (%)	20167年度(地域保健・健康増進事業報告)大腸がん検診受診率 (%)	2017年度(地域保健・健康増進事業報告)子宮頸がん検診受診率 (%)	2017年度(地域保健・健康増進事業報告)乳がん検診受診率 (%)		
	2016年度(地域保健・健康増進事業報告)胃がん検診受診率 (%)	2016年度(地域保健・健康増進事業報告)肺がん検診受診率 (%)	2016年度(地域保健・健康増進事業報告)大腸がん検診受診率 (%)	2016年度(地域保健・健康増進事業報告)子宮頸がん検診受診率 (%)	2016年度(地域保健・健康増進事業報告)乳がん検診受診率 (%)		
	2016年(国民健康基礎調査)胃がん検診受診率 (%)	2016年(国民健康基礎調査)肺がん検診受診率 (%)	2016年(国民健康基礎調査)大腸がん検診受診率 (%)	2016年(国民健康基礎調査)子宮頸がん検診受診率 (%)	2016年(国民健康基礎調査)乳がん検診受診率 (%)		
A4がん精密健診の受診率向上	2015年度(国立がん研究センター)胃がん精密検診受診率 (%)	2015年度(国立がん研究センター)肺がん精密検診受診率 (%)	2015年度(国立がん研究センター)大腸がん精密検診受診率 (%)	2015年度(国立がん研究センター)子宮頸がん精密検診受診率 (%)	2015年度(国立がん研究センター)乳がん精密検診受診率 (%)		
	2014年度(国立がん研究センター)胃がん精密検診受診率 (%)	2014年度(国立がん研究センター)肺がん精密検診受診率 (%)	2014年度(国立がん研究センター)大腸がん精密検診受診率 (%)	2014年度(国立がん研究センター)子宮頸がん精密検診受診率 (%)	2014年度(国立がん研究センター)乳がん精密検診受診率 (%)		
A5受動喫煙対策	2017年受動喫煙対策をしている事業所(労働安全調査事業所票)	2017年事業所で受動喫煙を感じている(労働安全調査労働者調査票)	2017年飲食店で受動喫煙を感じた割合(%) (国民・健康栄養調査)	2016年受動喫煙対策をしている事業所(労働安全調査事業所票)	2016年事業所で受動喫煙を感じている(労働安全調査労働者調査票)	2016年飲食店で受動喫煙を感じた割合(%) (国民・健康栄養調査)	
A6運動習慣・身体活動向上	2016年都道府県別歩数の平均値(男性)国民健康・栄養調査	2016年都道府県別歩数の平均値(女性)国民健康・栄養調査	2015年特健標準的質問(No.10)1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上継続する割合(%)	2015年特健標準的質問(No.11)歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施している割合(%)			
A7健康意識(歯磨き、飲酒、食行動、保健指導への意欲)	2016年毎日飲酒する人の割合(%) (国民生活基礎調査)	2015年特健標準的質問(No.18)お酒毎日を飲む割合(%)	2015年特健標準的質問(No.16)夕食後の間食が週に3回以上ある割合(%)	2015年特健標準的質問(No.15)就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある割合(%)	2015年特健標準的質問(No.21)生活習慣を改善つもらない割合(%)	2015年特健標準的質問(No.17)朝食抜きが3回/週以上の割合(%)	

図1-2 課題明確化ツールの6目的群・17目的のデータとして収集したリスト(続き)

A8生活習慣病予防(塩分)	2016年都道府県別BMIの平均値(男性)	2016年都道府県別BMIの平均値(女性)	2016年野菜摂取量の平均値(グラム)(男性)	2016年野菜摂取量(グラム)の平均値(女性)	2016年食塩摂取量の平均値(グラム)(男性)	2016年食塩摂取量の平均値(グラム)(女性)
A9睡眠・休養	2014年特健標準的質問(No.20)睡眠で休養が十分とれている割合(%)	2015年特健標準的質問(No.20)睡眠で休養が十分とれている割合(%)	2016年国民健康・栄養調査6時間以上睡眠をとっている人の割合(%)			
A10禁煙対策	2017年受動喫煙に取り組んでいる事業所(%) (労働安全衛生調査)	2016年受動喫煙に取り組んでいる事業所(%) (労働安全衛生調査)	都道府県別喫煙率(国民健康・栄養調査)(総数)2018年	都道府県別喫煙率(国民健康・栄養調査)(男性)2018年	都道府県別喫煙率(国民健康・栄養調査)(女性)2018年	
A11自殺予防	都道府県別自殺率2018年警察庁自殺者統計(10万対)	都道府県別自殺率2017年警察庁自殺者統計(10万対)	都道府県別自殺率2016年警察庁自殺者統計(10万対)	都道府県別自殺率2015年警察庁自殺者統計(10万対)		
A12メンタルヘルス確保対策	都道府県別ストレスチェック実施率(%)	2016年悩みやストレスの状況(国民生活基礎調査)(%)				
A13糖尿病の重症化予防	2015年特健標準的質問2現在、インスリン注射又は血糖を下げる薬を使用する割合(%)	2017年都道府県別透析患者数(日本透析医学会)(%)	2016年都道府県別透析患者数(日本透析医学会)(%)	2017年糖尿病が強く疑われる者の割合(国民健康・栄養調査)(男性)(%)	2017年糖尿病が強く疑われる者の割合(国民健康・栄養調査)(女性)(%)	2017年都道府県別糖尿病の死亡率(人口動態統計)(人口10万単位)
A14高血圧・循環器疾患	2016年特健標準的質問現在、血圧を下げる薬を使用する割合(%)	2015年特健標準的質問現在、血圧を下げる薬を使用する割合(%)	2016年特健標準的質問血中脂質下げる薬を使用する割合(%)	2015年特健標準的質問血中脂質下げる薬を使用する割合(%)		
	外来/高血圧の受療率2017年患者調査(人口10万対)	外来/虚血性心疾患の受療率2017年患者調査(人口10万対)	外来/脳血管疾患の受療率2017年患者調査(人口10万対)	外来/高血圧の受療率2014年患者調査(人口10万対)	外来/虚血性心疾患の受療率2014年患者調査(人口10万対)	外来/脳血管疾患の受療率2014年患者調査(人口10万対)
	2016年収縮期(最高)血圧が140mmHg以上の者の割合(国民健康・栄養調査)(%)	2017年都道府県別心疾患(高血圧を除く)の死亡率(人口動態統計)(人口10万単位)	2017年都道府県別脳血管疾患の死亡率(人口動態統計)(人口10万単位)			
A15肝がん予防	2016年B型肝炎ウイルスの40歳検診における受診率(%)	2016年C型肝炎ウイルスの40歳検診における受診率(%)				
A16疾患を持つ就労者への両立支援	全国データなし					
A17歯科健診・口腔衛生の向上	2016年1日2回以上歯磨きする人の割合(歯科疾患実態調査)(%)	過去1年間に歯科検診を受けた者の割合(20歳以上平成28年国民健康・栄養調査)(%)				

図2 明確化ツールの画面イメージ

地域圏連携推進 課題明確化ツール

比較したい項目を選択してください
A1特定健診/定期健診受診率向上

都道府県を選択してください
岩手県

①課題を選択

②当該の都道府県
を選択

③全国と当該の都
道府県のデータが
表示される

選択した項目のデータが表示されます。
※都道府県のデータは存在しない場合があり、存在しない場合は空欄になります。

	全国	都道府県	入力してください 自分の地域
2015年国保特定健康診査受診率 (%)	36.3	27.1	
2014年国保特定健康診査受診率 (%)	35.4	26.1	
2013年国保特定健康診査受診率 (%)	34.3	24.7	
2015年特定健康診査受診率 (%)	50.1	39.3	
2014年特定健康診査受診率 (%)	48.6	37.4	
2013年特定健康診査受診率 (%)	47.6	36.4	

図3-1 事業開発ツールの内容一覧

目的群	A:目的	B:事業のターゲットとなる人(真の対象者)	C:協働する機関・活用する資源	D:活動内容(具体的にイメージできる方がよい)	アウトプット評価例	E:プロセス評価	F:アウトカム評価	G:エンドポイント
I 健診・検診関係	A1特定健診/定期健診受診率向上	B1事業主(経営者)	C1事業主(経営者)	D1 健診データの提供・共有	関係機関と調整できた実施できた/実施できなかった分析ができた/分析/分析ができていない	プロセス評価: 課題の明確化と目標(E-1)	F1特定健診の受診率向上 目標%	G1生活習慣病関連の医療費の減少
	A2特定保健指導受診率向上	B2就労者	C2衛生委員会等 衛生管理者・衛生推進者 (健康保険担当者)	D2 がん検診と特定健診の共同実施	関係機関と調整できた実施できた/実施できなかった		F2特定保健指導の実施率の向上 目標%	G2メタボリックシンドロームのリスク保有者/率の減少
	A3がん検診受診率向上	B3若い年代(中学・高校・大学生)	C3商店街	D3 定期健診データを特定健診データとして提供する事業に関する活動	関係機関と企画に向けて検討した事業を実施できた/できなかった事業を周知した機関数 場所 問合せ数 回 提供した事業場数 場所 提供した人数 人		F3がん検診受診率の向上 目標%	G3生活習慣病関連の有病者/率の減少
	A4がん精密検診の受診率向上	B4退職前の年代	C4理髪店等の業種組合	D4 健診・検診に関する問い合わせ、相談などに関する活動	企画に向けて検討した実施した/実施できなかった事業を広報した事業広報先 場所 問合せ数 回		F4ゲートキーパーを受調した人の増加(人数あるいは%)	G4労働者の業務遂行能力(生産性)の向上
II 地域の健康意識の向上	A5受動喫煙対策	B5家族ぐるみ(家族)	C5農協などの組合	D5 協議会の関係機関に調査を行い、相互活用ができる事業を集約して共有(公表)する	関係機関と企画に向けて検討した実施した/実施できなかった回答機関数 場所 参加機関カバー率 % 配布機関数 場所 配布カバー率 % HPへ掲載した/しなかった	構造評価: 実施上の留意事項(E-2)	F5生活習慣の改善状況(特定健診の標準的な質問票など) 目標%	G5新規受診者の減少 目標人数、前年度比
	A6運動習慣・身体活動向上	B6専門職	C6学校・PTA	D6 働く人の生活習慣等に関する調査	回収率 % 実施できた/実施できなかった関係機関と調整できた		F6労働者の意識や知識の改善(健康増進計画などを参考にターゲット項目を設定し、目標値を設定)	G6がんの死亡率(年齢調整)の低下
III 生活習慣の見直し・生活習慣病予防	A7健康意識の向上		C7教育委員会	D7 リーフレット・パンフレット・ポスター等の作成	作成できた・作成できなかった	プロセス評価: 評価の実施(E-3)	F7労働者の喫煙率/受動喫煙を受けている労働者数(労働安全衛生調査の「労働者調査」の項目)を参考に目標値を設定	G7自殺者数・自殺率の減少 目標%
	A8生活習慣病予防(運動、減塩、高血圧、糖尿病、メタボ)、ロコモティブシンドロームの予防		C8労働基準監督署	D8 リーフレット・パンフレット・ポスター等の配布活動	配布協力があった/なかった配布箇所 場所 配布場所カバー率 % カバー率 %		F8ストレスを感じている労働者の割合(労働安全衛生調査の「労働者調査」の項目)を参考に目標値を設定	G8健康寿命の延伸
	A9睡眠・休養		C9産業保健総合支援センター	D9 関係機関の広報誌への記事の掲載	掲載した 回 したか、しないか		F9事業主の意識の改善(ターゲット項目を設定し、目標値を設定)	
	A10禁煙対策		C10地域産業保健センター	D10 イベントの共同実施	企画の準備をした開催した/開催できなかった開催回数 回 参加者 人 参加機関カバー率 %		F10職場における保健事業の実施状況(ターゲット項目を設定し、目標値を設定)	
IV メンタルヘルス向上	A11自殺予防		C11商工会議所・商工会	D11 各機関のイベントで情報提供の時間やブース出すなどの機会を持つ	提供した/提供できなかった提供した回数 回 提供機関数 場所	プロセス評価: 評価の実施(E-3)	F11メンタルヘルス対策に取り組んでいる事業所数・率(労働安全衛生調査の「事業所調査」の項目)を参考に目標値を設定	
	A12メンタルヘルス確保対策		C12協会けんぽ	D12 保健医療専門職向け研修	開催した/開催できなかった開催回数 回 参加者 人 参加機関 場所%		F12受動喫煙対策に取り組んでいる事業所数・率(労働安全衛生調査の「労働者調査」の項目)を参考に目標値を設定	
V 治療と仕事の両立支援/疾病に焦点化した支援	A13糖尿病の重症化防止		C13健保・企業	D13 衛生推進者・衛生管理者・事業主を対象とした研修会	企画を検討した開催できた/開催できなかった参加者数 人 参加機関 場所 参加機関カバー率 %	プロセス評価: 評価の実施(E-3)	F13治療が必要な疾患の両立支援を実施している事業所数・率%	
	A14高血圧・循環器疾患の重症化予防		C14医師会	D14 事業所等への出前講座	開催した/開催できなかった開催回数 回 参加者 人 参加機関カバー率 %		F14過去1年間に歯科検診を受けた者の割合の向上 %	
	A15肝がん予防		C15歯科医師会	D15 労働者向けの講演会	企画に向けて検討した企画できた/企画できなかった開催回数 回 参加者数 人 参加機関数 場所 参加機関カバー率 %			
	A16 疾患を持つ就労者の両立支援		C16薬剤師会	D16 健康経営に関する講演会・研修会	企画に向けて検討した開催できた/開催できなかった開催回数 回 参加者数 人 参加機関数 場所 参加機関カバー率 %			
VI 歯科保健	A17歯科健診受診率向上歯周疾患、歯肉炎などの口腔衛生の向上		C17栄養士会	D17 事業所向け講演会で事業所の健康づくり活動事例等の紹介	企画を検討した開催できた/開催できなかった参加者数 人 参加機関 場所 参加機関カバー率 %			

図3-2 事業開発ツールの内容一覧(続き)

目的群	A:目的	B:事業のターゲットとなる人(真の対象者)	C:協働する機関・活用する資源	D:活動内容(具体的にイメージできる方がいい)	アウトプット評価例	E:アウトカム評価	G:エンドポイント
			C18看護協会	D18 Webに地域・職域連携のポータルサイトの作成/運営、メールマガジンなどによる情報提供	企画に向けて検討した 企画できた/企画できなかった 実施できた/実施できなかった メールマガジン情報提供事業所数 カ所 HPの更新回数 回 計画を立案した 事業所を訪問できた 箇所 公開できた/できなかった 訪問に参加したのべ人数 人 配布数 閲覧者数	E3-4 関係機関が意義・役割を認識して事業に参加していた。	
			C19食生活改善推進委員・地域の保健推進委員など	D19 事業所の訪問・インタビューなどをして良好事例を紹介する	計画を立案した コンテンツ作成した HPに掲載できた/できなかった 掲載した回数 回 閲覧者数 人	E3-5 対象者や対象事業所反応があった/満足度が上がった	
			C20PTA連合会	D20 食室の情報提供記事(ポップ)をHP掲載・配信	計画を立案した コンテンツ作成した HPに掲載できた/できなかった 掲載した回数 回 閲覧者数 人	E4-1 事務局の人員がきている	
			C21独自の産業保健連絡員会等	D21 階段への掲示ツール(運動や消費カロリーなど)のHPへの掲載・配信	コンテンツ作成した HPに掲載できた/できなかった 掲載した回数 回 閲覧者数 人	E4-2 実施事業の予算が確保できている	
			C22給食施設	D22 地域の商店街のヘルシメニュー飲食店の紹介	関係機関と企画に向けて検討した 事業を実施できた/できなかった 参加飲食店数 カ所 HPへ紹介した/できなかった HPの閲覧者数 人 パンフレットを制作した/作成できなかった 配布協力があつた/なかった 配布箇所 カ所 配布場所カバー率 % カバー率 %	E5-1 開月毎の予定を立てている	
			C23労働基準協等の団体	D23小規模事業所に活用できる補助金等の情報提供	配布箇所 カ所 提供回数 回	E5-2 議事録を作成している	
			C24保健所の庁内連携	D24 表彰制度(職場の健康づくりの優良取組を始めようとする事業所を認定する「チャレンジ表彰」)の開始・利用・活用	企画に向けて検討した 企画できた/企画できなかった 実施できた/実施できなかった 応募事業所数 カ所	E5-3 議事録を共有している(E-5)	
			C25市町村の衛生部門	D25 事業所が活用できる医療機関等の情報誌作成・更新(メタルヘルス診療機関など)	企画に向けて検討した 企画できた/企画できなかった 作成できた/作成できなかった 配布箇所 カ所 配布場所カバー率 %	E5-4 各機関の業務とリソースを共有している	
			C26市町村国民健康保険関係部門	D26 事業所健康づくりとして活用できるイベントの提供(チャレンジマッチなどの健康づくりイベント)	企画に向けて検討した 企画できた/企画できなかった 実施できた/実施できなかった 応募事業所数 カ所	E5-5 連携事業について関係機関に必要な情報が提供されている(ホームページでの公開など)	
			C27保健者協議会	D27 給食施設指導・介護保険事業所・美容事業所など保健所が入りやすい施設・事業所の健康づくりの支援	企画に向けて検討した 企画できた/企画できなかった 事業を実施した/実施できなかった 実施事業所数 カ所 実施事業所カバー率 %		
			C28学識経験者	D28 ゲートキーパーの人材育成	開催できた/開催できなかった 参加者数 人 参加機関 カ所 参加機関カバー率 %		
			C29大学・研究機関等	D29 就労者に特定健康診査の受診勧奨	関係機関と企画に向けて検討した 事業を実施できた/できなかった ポスターパンフレットを配布した ポスターを掲示した医療機関 カ所 協力関係機関数 カ所 保健指導受診率 % 特定健診受診者数 人 利用率(特定健診実施数/勧奨者数) %		
				D30 就労者に特定保健指導の利用の勧奨	関係機関と企画に向けて検討した 事業を実施できた/できなかった ポスターパンフレットを配布した ポスターを掲示した医療機関 カ所 協力関係機関数 カ所 保健指導受診勧奨数 人 保健指導勧奨率 % 保健指導実施者数 人 利用率(保健指導実施数/勧奨者数) %		
				D31 労働者に生活習慣病の健康指導を実施	関係機関と企画に向けて検討した 事業を実施できた/できなかった 協力関係機関数 カ所 保健指導受診勧奨数 人 保健指導勧奨率 % 保健指導実施者数 人 利用率(保健指導実施数/勧奨者数) %		
				D32 労働者に生活習慣病健診(人間ドック)などの受診勧奨	関係機関と企画に向けて検討した 事業を実施できた/できなかった 協力関係機関数 カ所 配布件数 人 配布率 %		
				D33 健康保険組合や協会けんぽの組合などを利用して事業所間の実施状況などの情報を提供する	企画に向けて検討した 企画できた/企画できなかった 実施できた/実施できなかった 情報提供事業所数 カ所		
				D34 退職者への地域保健などの情報提供を行う	企画に向けて検討した 企画できた/企画できなかった 実施できた/実施できなかった 参加者数 人 参加事業所数 社		

図4 連携事業開発ツールの画面イメージ



図5 出力画面イメージ

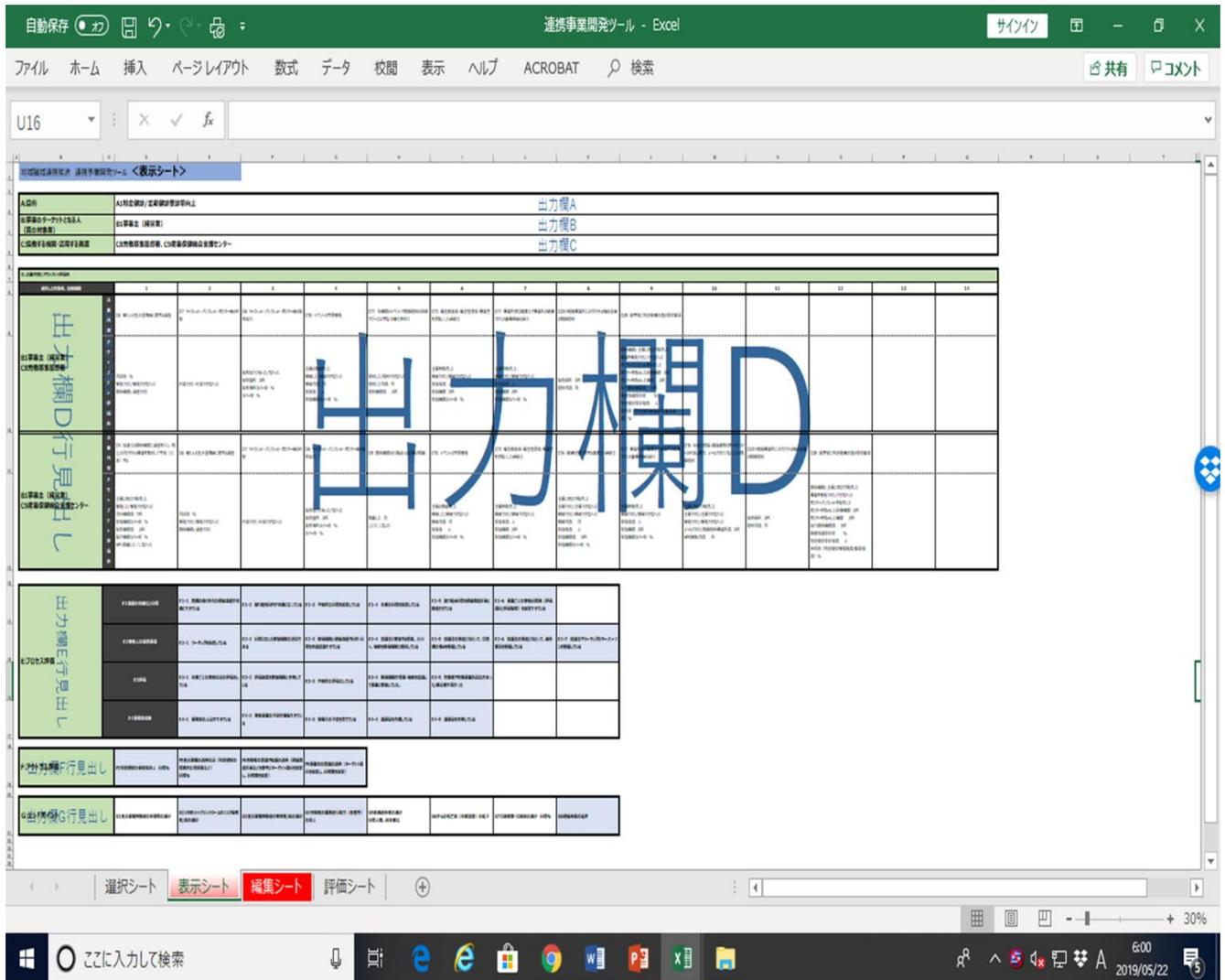


図6 計画・実施・評価シートへの記入例の画面

地域職域連携推進 連携事業開発ツール <計画・実施・評価シート>				
A:目的	A1特定健診/定期健診受診率向上		表示された内容を参考に、「目的」をコピーあるいは適切な内容を記載してください	
B:事業のターゲットとなる人（員の対象者）	B1事業主（経営者）		表示された内容を参考に、「事業のターゲットとなる人」をコピーあるいは適切な内容を記載してください	
C:協働する機関・活用する資源	C8労働基準監督署、C9産業保健総合支援センター		表示された内容を参考に、「協働する機関・活用する資源」をコピーあるいは適切な内容を記載してください	
G:エンドポイント（5年以上継続することにより期待される成果）	G2メタボリックシンドロームのリスク保有者/率の減少		表示された内容を参考に、「エンドポイント」をコピーあるいは適切な内容を記載してください	
F:アウトカム指標/評価 ①1-3年実施することにより現れた変化、成果 ②参加者は感じる成果、手ごたえ ③担当者を感じる手ごたえ、成果	目標	F1特定健診の受診率向上 各機関 1%以上向上 管内目標：目標 43.5%	表示されたアウトカム指標を参考に、適切な目標値を記載してください	
	結果	auto	上記目標に対する結果を記載してください	
	結果の評価	やや十分に行えた	プルダウンから選択してください	
アウトプット指標/評価 ①半年度までのものを記載します ②成功要因・改善要因を考える際にはプロセス評価を基に考えてみましょう	事業	実施事業 1	実施事業 2	
	活動内容	D10 イベントの共同実施	D11 各機関のイベントで情報提供の時期やペース出すなどの機会を持つ	表示された「活動内容」を参考に、コピーあるいは適切な内容を記載してください
	アウトプット目標	企画の準備をする 3回 （4月・6月・9月） 開催した/開催できなかった 開催回数 1回 参加者数 150人 参加機関数 120機関 カバー率 %	各団体からの情報収集 1回 （前年度3月） 情報提供回数 2回（5月） 提供機関数 20カ所	表示された「アウトプット評価例」を参考に、目標を記載してください
	時期	2020年2月	2020年 2月	評価時期を記載してください
	アウトプット結果	企画の準備をした 5/8、7/9 開催した 10/8 開催回数 1回 参加者数 100人 67% 参加者率（対 目標数） 参加機関数 96機関（うち、事業所70カ所） 参加機関カバー率 80.0%	各団体からの情報収集 1回（前年度3月） 情報提供回数 2回（5月） 提供機関数 20カ所	上記目標に対する結果を記載してください
	（結果）の評価	やや十分に行えた	やや十分に行えた	プルダウンから選択してください
アウトプット結果の評価	イベントの打ち合わせ回数不足 た、イベント参加者は楽しかったとい 意見が大多数	情報収集と情報提供はスムーズに 情報の活用状況について、また実際の 協働活動実施例は把握していない	上記目標に対する結果を記載してください	
〇年度の総合評価 実施した事業についての総合評価 （出来たところ、課題等）	上記目標に対する総合評価を記載してください	
次年度に向けての見直し	集客が課題。 Aとのサブセンターにて実施する。さらに商工 会議所の会議にご協力いただき、2者で依頼をする	情報の活用状況について調査 事務局から、協働できそうなところを探して、モデル事 業を行う	適切な内容を記載してください	

図7 計画・実施・評価シートの記入例の画面への記入例

赤字は自由記載で追記した部分

地域職域連携推進 連携事業開発ツール <計画・実施・評価シート>	
A:目的	A8生活習慣病予防（糖尿病）の予防
B:事業のターゲットとなる人（真の対象者）	B1事業主（経営者）、B2就労者
C:協働する機関・活用する資源	C1事業主（経営者）、C2衛生委員会等、衛生管理者・衛生推進者（健康保険担当者）、C4理美容等の業種組合、C5農協などの組合、C8労働基準監督署、C9産業保健総合支援センター、C10地域産業保健センター、C11商工会議所・商工会、C13健保・企業、C21独自の産業保健連絡委員会等、C23労働基準協会等の団体、C12協会けんぽ、C24保健所の庁内連携、C25市町村の衛生部門、C26市町村民健康保険関係部門、 独自：後期高齢者医療広域連合
G:エンドポイント（4～5年以上継続することにより期待される成果）	G1生活習慣病関連の医療費の減少 G2メタボリックシンドロームのリスク保有者/率の減少 G3生活習慣病関連の有病者/率の減少
F:アウトカム指標/評価	
①1～3年実施することにより現れた変化、成果 ②参加者が感じる成果、手ごたえ ③担当者が感じる手ごたえ、成果	
目標	F6労働者の意識や知識の改善（健康増進計画などを参考にターゲット項目を設定し、目標数を設定） F10職場における保健事業の実施状況（ターゲット項目を設定し、目標数を設定）
結果	1、特定健診の結果で糖尿病リスクを持つ割合が減少する（今年度、ベースラインデータを抽出） 2、特定健診結果から糖尿病リスクを保有する割合が高いことを認識する事業主が増える（現状地はデータがないため、今後アンケートを実施予定） 3、保健所が関与する糖尿病予防に関する出前講座が増える
結果の評価	あまりできなかった
アウトカム指標/評価	事業 実施事業 1
①単年度の内容を記載します ②成功要因・阻害要因を考える際にはプロセス評価を基に考えてみましょう	
活動内容	D1 健診データの提供・共有と分析を行い、各関係機関に糖尿病リスクがある人が多いことを説明する。
アウトカム指標	1、協会けんぽ、労働基準監督署、市町村国保、後期高齢者医療広域連合と連携し、健診及び医療費データを収集する 2、収集した情報を市町及び二次医療圏で分析する
時期	2020年3月
アウトカム結果	1、の関係機関に2019年8月に健診情報と糖尿病に関する医療費の情報提供を依頼した。また、随時データの確認を行った。 2、上記1の情報を分析した。 3、2020年2月に各関係機関に分析結果を報告・説明した。 4、2020年3月に地域・職域連携推進協議会で分析したデータを報告する予定であったが、新型コロナ関係で協議会が中止となった
(C&A) 評価	やや十分に行えた
アウトカム評価の成功・阻害要因	▲上記1～3までは「十分に行えた」が、4が実施できなかったため、各委員、各組織での具体的な事業の実施項目まで設定できていない。 ▲データの集約の過程で、分からないデータなどがあり、再度確認するなど手間がかかった。しかし、次年度からは今回の経験が生きると思われる。 ○昨年度の地域・職域連携推進協議会で、働く世代の生活習慣病予防対策が必要という意識合わせができていたため、データ収集に関しては、各組織は協力的であった。 ○データの分析・解釈については学識経験者のアドバイスがあった。
2019年度の総合評価 実施した事業についての総合評価 (出来たところ、課題等)	○2018年に関係機関の協力体制を構築できた。 ○2019年にデータを収集して、本地域において若い年代から糖尿病リスクが高く、後期高齢者医療保険の分析においても糖尿病医療費が高いことが分かったので、健康課題が明確にできた。 ○結果を各機関に提示することで、対策の必要性を感じていただけた。 ▲各関係機関での、糖尿病予防に関する具体的な事業設定・展開までは手がついていない。
次年度に向けての見直し	・具体的な事業展開に向けて、7月の第1回協議会までに、各機関を訪問し、下調整をしておく。 ・2019年度に収集した健診・医療費データを経年的収集し、分析する仕組みを作る。